

小中高教員のための最先端研究との連携推進事業（予算：合計70万円）



最先端研究は、授業、総合的活動・部活動支援などにおいて、進化・発展し続ける化学に興味を誘導する入り口となりうる。小中高の先生方に、そうした最先端研究との出会いの場を提供することは、化学に興味を持つ次世代人材を増やすことに繋がるため、極めて重要である。そこで、最先端機器の利用を可能とするため、以下2つを想定した事業を実施する。

(1) 次世代高輝度放射光施設ナノテラスの活用講座を開催し、小中高生の教育・研究活動において、それを活用することができるよう、必要な支援をする。

(2) 大学などの研究機関で共通機器として提供されているNMR、GC、HPLC、X線関連設備、電子顕微鏡などを、それを有する機関の職員と共同で利用することを想定し、小中高生の教育・研究活動において、それらを活用することができるよう、必要な支援をする。

※1. 日本化学会東北支部会員（個人正会員等）の教員を含む。